

鬼怒テクノ通り希少動植物種モニタリング検討会

第13回 議事録要旨

-
1. 日 時: 平成17年7月8日(金) 16:30～19:00
 2. 場 所: 警察共済施設 アーバンしもつけ 202会議室
栃木県宇都宮市昭和3-2-8
 3. 検討内容:
 1. 第11回議事録要旨について
 2. 真岡BP工区 各調査結果について
 3. 真岡BP工区 今後の工事計画について
 4. 真岡BP工区 今後の調査計画について
 5. 真岡北BP工区 各調査結果について
 6. 真岡北BP工区 今後の工事計画について
 7. 真岡北BP工区 今後の調査計画について
 8. ミヤマウズラの経過報告
 4. 議事要旨:
 1. 第11回検討会議事録要旨
 - 了承された。
 2. 真岡BP工区
 - 2-1)オオタカ
 - オオタカは、抱卵時または孵化直後に繁殖に失敗した。
 - オオタカは、4年連続で繁殖に失敗し、IC周辺開発事業などの工事の影響も考えられる。この結果を今後の事業に生かすために、遠藤委員と相談しながら、工事の実施とオオタカの繁殖状況などを整理する。
 - オオタカは、道路事業、IC周辺開発事業の造成等により巣を動かしたと考えられる。来年、IC周辺開発事業では、第5工業団地が造成される予定であり、オオタカ、サシバは行動圏が変わる可能性がある。高松委員と事業者が相談し、真岡市に情報を提供し、IC北の林の保全を要望する。
 - 2-2)サシバ
 - サシバは2箇所を確認され、繁殖は行われなかったと考えてよい。

2-3)オオムラサキ

- オオムラサキは移動地点で個体数が減少した。

2-4)工事計画

- 本検討会後の工事の再開について了承された。

2-5)調査計画

- 今年のおオタカ及びサシバ調査の終了について了承された。

3. 真岡北 BP 工区

3-1)オオタカ

- オオタカは2つがいが繁殖している。
- 巣立ち幼鳥の個体数について、“7月6日、声により巣立ち2個体を確認”を追記する。

3-2)サシバ

- サシバは、3つがいが繁殖している。昨年の繁殖地1つで、今年、繁殖は見られなかった。サシバは巣を変えることもあり、本事業の伐採の影響はないと考えられる。
- 1つがいのサシバは巣立ち幼鳥の個体数を特定する結果が得られていないため、“1個体が巣立ち”の記述は、現時点ではすべきでない。今後の調査結果をもとに訂正すべきである。

3-3)貴重植物

- 貴重植物は、自生のミズニラ、カワヂシャ、エビネ、移植したミズトヲノオ、サクラオグルマが確認された。

3-4)オオムラサキ

- オオムラサキは移動地点で個体数が減少した。

3-5)工事計画

- 本検討会後の工事の再開について了承された。
- 繁殖期間中も継続して作業を実施する工種について、「現道上の工事のため休止期間なし」との記述に加え、「施工箇所は主要な行動域から離れている」、「施工箇所は営巣木から比較的離れている」旨を記述すべきである。

3-6)調査計画

- 巣立ち幼鳥の個体数が推定されないC地区東のサシバについて、巣立ち幼鳥の個体数を把握するための調査を早急を実施すべきである。

4. ミヤマウズラ

- ミヤマウズラは生育状態が悪く、5月以降、真岡土木事務所で管理を始めた。
- 移植の評価を行うために、これまで取り組んできた保全措置の経緯を整理して欲しい。
- 保全対策に関して、事務所保管の個体の移植と計画路線上の自生個体の移植、それぞれ記述を分けるべきである。

5. その他(ホームページの更新)

- 修正文案については問題ない。地名を明記している箇所は表現を変えた方が良い。
公表前に事務局案を作成し、委員の了解を得ることとする。